

清潔・誠実・行動力

議会レポート

深山たかし

8号

広報誌 第8号 (H18.01)
市議会議員 深山 孝
上尾市上1774-7
TEL: 776-0575
fax: 776-0575
E-Mail: fukayama-sov@jcom.home.ne.jp

上尾に活力!

平成17年12月5日(月)
12月議会開催



議員活動も2年目を迎え、市政に対する一般質問も上平公民館改修等、地域の問題を始めとし、IT時代を反映した情報化や、教育・福祉・商工施策、年を追うごとに厳しさを増す財政問題等など、幅広い提言を行うことが出来ました。

私は、市の事業活動は、財政基盤の拡充が必須と考えております。今年は、景気も好転傾向にあることから、積極的な経済施策推進に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

12月議会での質問項目

- 1) 行財政実行計画について
「行財政3カ年実施計画」・「現在の財政状況」・「緊急財政健全化推進検討会議」
- 2) 健康福祉について
「改正介護保険法」・「地域福祉計画」
- 3) 商工振興施策について
「大型店出店ガイドライン」・「商工業施策」

<質問の理由>

1) 行財政実行計画について
市の全ての計画は「行財政3カ年実施計画」基本となっておりますので、計画立案過程と、計画の進捗状況。また、財政が厳しさを増す中で、どの様に市政を運営していくのかを尋ねました。

2) 健康福祉について
介護保険法が改正され、地域福祉計画など新たな施策が導入される中で、市民への啓発活動をどのように行うのかを質問しました。

3) 商工振興施策について
上尾を活気ある街にするためには、商工業の活性化が必要不可欠です。どの様な振興施策を行い、どこに効果が顕れているのかを細部にわたり質問しました。

(質問の詳細は、”深山たかし”のホームページにて閲覧出来ます)

ホームページはYahoo検索の”深山たかし”で閲覧できます

【12月議会での一般質問】 抜粋

●上尾市は、現在財政状況が非常に厳しいと説明されているが、何が厳しくどんなことが問題とされているのか。

歳入について、定率減税の半減や税制改正により、市税、収入の増加は見込まれるところ。

しかし、定率減税の半減に伴い、地方特例交付金や減税補てん債が減額されることになる。また、それ以外の税収増加分についても、地方交付税制度のもとにおいては、税収が増加すれば地方交付税が減少する仕組みとなっているため、歳入全体としての増加を見込むことは難しい状況にある。

また、歳入を補てんする基金の残高についても、近年著しく減少している。このように、十分な歳入を確保することが困難な状況に加え、歳出においても、事務事業の見直し及び経費節減による歳出の圧縮に努めているが、少子高齢化社会の進展に伴う扶助費の増加あるいは公債費等の増加が見込まれるなど、削減の困難な歳出の増加が避けられないところ。

このように歳入歳出それぞれに財政運営上の大きな課題があることから、今後も国の動向に注目しながら、厳しい財政運営を行っていかねばならないと考えている。

★「広報あげお」12月号で実質収支13億5千万円余りの「黒字」と表現してあることについて、私は上尾市の財政状況の厳しさが市民に正確に伝わっていないと指摘しました。市民に対する市の説明は、不十分です。

各種委員会の担当になりました。

【常任委員会】
文教経済常任委員会

【一部事務組合議会議員】
上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員

【各種付属委員会等】
上尾市都市計画審議会委員
スポーツ振興審議会委員

【活動報告会】

11月6日（日）大勢の皆さんにお手伝いを頂き、活動報告会を行いました。

当日は、天候にも恵まれ、報告会終了後、情報交換会など、楽しいひとときを過ごすことができました。

ご協力本当にありがとうございました。

